

経営比較分析表（平成29年度決算）

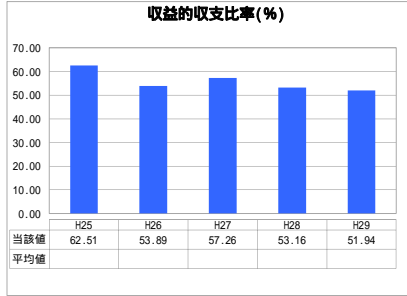
埼玉県 美里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	48.93	100.00	3,673

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,252	33.41	336.79
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,492	2.82	1,947.52

グラフ凡例
当該団体値(当該値)
類似団体平均値(平均値)
【】平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



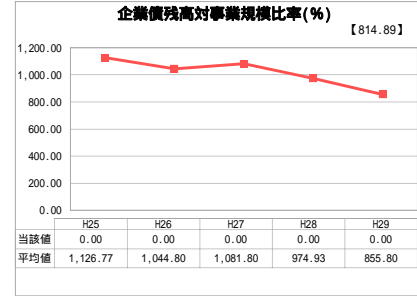
「単年度の収支」



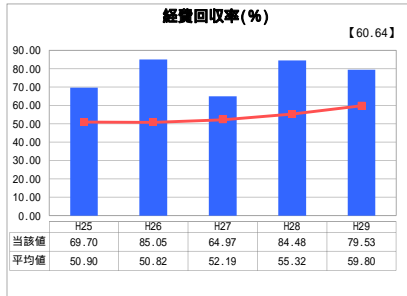
「累積欠損」



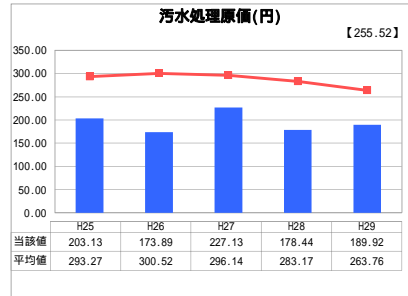
「支払能力」



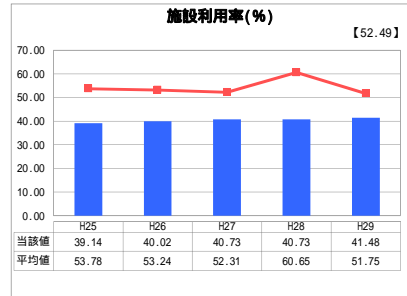
「債務残高」



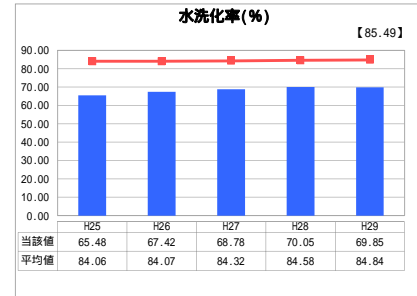
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

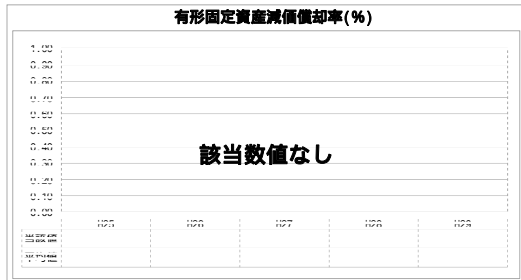


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

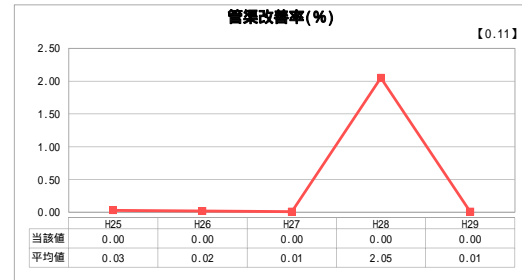
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率
施設の老朽化が進み修繕費用が年々増加している為、前年度に比べ収益的収支比率はわずかに減少しています。平成27年度は若干増加しましたが、依然低い数値となっています。

経費回収率
前年度に比べ料金収入に大きな増減はないが、施設の老朽化に伴う修繕費の増加等により汚水処理費が増加した為、経費回収率が減少しています。

汚水処理原価
前年度に比べ年間有収水量に大きな増減はないが、施設修繕費等により汚水処理費が増加したため、汚水処理単価は増加しています。しかし、類似団体と比較すると例年同様良好な状態となっています。

施設利用率 水洗化率
類似団体と比較するといづれも例年同様低い数値となっています。経営改善のため、今後も引き続き、通知文書の送付や、戸別訪問などで加入促進を行い、水洗化人口及び有収水量の増加を目指していく必要があります。

2. 老朽化の状況について

美里町の農業集落排水事業は、平成7年度に十条処理区、小栗処理区、平成9年度に広木処理区、平成10年に沼上処理区、円良田処理区、平成16年度に駒久処理区、平成25年度に南部中央処理区が完成し、7処理区すべてが供用開始しています。すでに半数以上の処理区が供用開始から約20年が経過しており老朽化が著しく、維持管理費、修繕費用もかさむため機能強化もしくは処理区の統合を検討する必要があります。今後、交付金を活用した機能診断及び最適整備構想の策定を計画しています。

全体総括

美里町は、接続率の向上や、維持管理費の削減などにより経営改善を行いつつ、将来人口の推移を踏まえた処理区の統合や機能強化を行い効率的な事業運営を目指します。

法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。